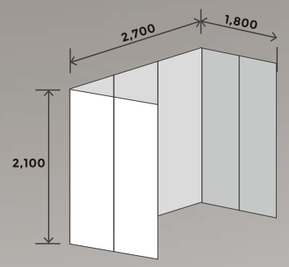
出展ブース仕様

屋内ブース　※1 社 1 小間のご利用　35,000 円

コンベンションホール B



サイズ：W2700×D1800×H2100mm
基本設備：長テーブル /2 台
(W1,800×D600×H700mm)
イス /2 脚　社名板 /1 枚

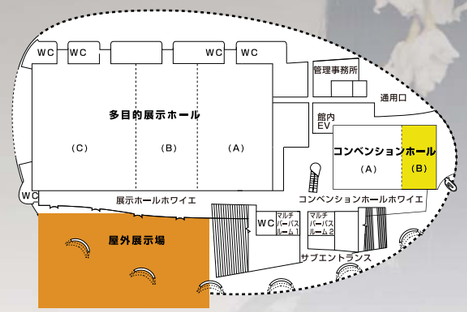
●オプション
電源コンセント
スポットライト
追加備品
※費用は別途申し受けます

屋外ブース　※複数のご利用が可能です　35,000 円

屋内ブースをお申し込みいただく方は無料。

社名板 /1 枚
長テーブル　1 台
イス /2 脚

屋内ブースをお申し込みいただく方は無料でお使いいただけます。メインは掘削機の展示を想定しておりますので、展示内容によってはお断りする場合がございます。ご了承ください。



会場ご案内

ビックパレットふくしま
福島県郡山市南２丁目５２
http://www.big-palette.jp/

●郡山駅からバスをご利用の場合

ＪＲ郡山駅西口「1 番乗り場」から乗車、
バス停「 ビッグパレット」下車
所要時間：約 15 分
片道運賃：300 円
※(栄町) 柴宮団地行き以外にご乗車下さい

お申込み・お問合わせ　**参加申込期限：10 月 30 日 [月] まで**

福島県地中熱利用促進協議会　Tel：024-933-7077　Fax：024-933-7066
〒963-8033　福島県郡山市亀田 2 丁目 11-21　E-mail：info@f-geoheat.org

参加申込者氏名（代表）				
所属機関・団体名				
連絡先	住所：			
	ＴＥＬ：			
	E-mail：			
参加者 ※参加者全員のお名前と出欠をご記入下さい	氏　名	11/20 交流会	11/20　意見交換会	11/21 見学会

※ご注意：申し込みを受付いたしましたら、折り返し受付確認の御連絡をいたします。
交流会・意見交換会・見学会参加費は 11 月 20 日の受付の際に集めますので、お釣りがいらないようにご準備の程、宜しくお願い致します。

出展ブースおよび広告申込
10/20（金）締切り

出展ブースおよび広告の申込書は下記、地中熱利用促進協会ホームページよりダウンロードの上、
10 月 20 日（金）までにメールまたは FAX で福島県地中熱利用促進協議会までお送りください。
http://www.geohpaj.org

地中熱等を活用した
再生可能エネルギー先駆けの地の実現

【交流会】平成 29 年
11/20 [月] 10:00～
ビックパレットふくしま

【見学会】11/21 [火] 8:30～
見学先（産業技術総合研究所（FREA）・日本大学工学部・おとぎの宿 米屋）

第 7 回 全国地中熱利用促進
地域交流 2017ふくしま

主催　福島県地中熱利用促進協議会・特定非営利活動法人地中熱利用促進協会（連名主催）

後援　経済産業省、環境省、国土交通省、福島県、郡山市、国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所、福島大学、日本大学工学部、日本地熱学会、全国さく井協会、全国さく井協会東北支部、ヒートポンプ・蓄熱センター、地中熱＆地下水資源活用 NET、地下水・地下熱資源強化活用研究会、日本技術士会東北本部、日本技術士会東北支部福島県本部、東北地質調査業協会、福島県さく井技術協会、福島県地質調査業協会、福島県設備設計事務所協会、東北電力（株）、（株）ユアテック、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、福島テレビ、福島民友新聞社、福島民報社

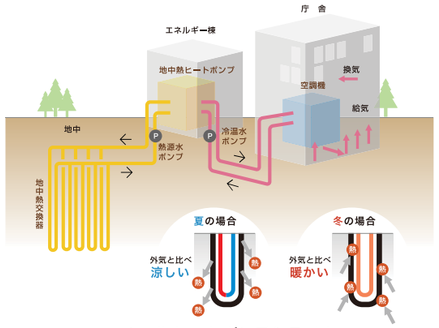
■お問い合わせ　**福島県地中熱利用促進協議会**
TEL：024-933-7077 FAX：024-933-7066　E-mail：info@f-geoheat.org

地中熱は日本のどこにでもある再生可能エネルギーです。

2020 年開催予定の東京オリンピック会場『アクアティクス・センター』『有明アリーナ』での導入が決定している地中熱利用システム。地中熱は年間を通じて安定な熱源で、この熱をヒートポンプ技術と組み合わせることにより、夏は冷たく、冬は暖かい、そしてきわめて効率のよい空調及び給湯システムが実現できます。

マグマの熱による高温高圧の水蒸気を利用して発電する地熱と誤解されやすい地中熱ですが、地熱の中では温泉の熱利用（源泉・排湯などの温度差利用）は、地中熱の利用とよく似ています。地熱と違い地中熱は日本のどこにでもある再生可能エネルギーであり、この地中熱の活用により地域のエネルギーコスト削減と低炭素化が同時にできます。

今般の地域交流を通じて『地中熱等を活用した復興の加速化』について議論する中で東日本大震災からの復興の見える化の解を導いて行きたいと考えています。



地中熱ヒートポンプシステム

福島県内の地中熱・地下水・温泉熱利用ヒートポンプシステム導入数（計 70 件）

福島駅「エコステ」・おとぎの宿米屋・開成山屋内水泳場・表郷「聖・オリーブの郷」・ホテルメッツ福島・竹田綜合病院・産総研・ふくしま医療機器開発支援センター他

（2015 年時点；地中熱ヒートポンプシステム導入数）

11/20［月］ 屋内展示・屋外展示 10:00～16:15

屋内展示；コンベンションホール B　　屋外展示；屋外展示場（多目的展示ホール前）

11/20［月］ 交流会

参加費（資料代）：2,000 円（学生：1,000 円）

開会式
13:00～13:25

13:00～13:05　開会の挨拶　福島県地中熱利用促進協議会　理事長　白石 昇央
13:05～13:15　来賓挨拶　福島県知事　内堀 雅雄
13:15～13:25　来賓挨拶　郡山市長　品川 萬里

第一部
地中熱利用促進の取り組み
13:25～14:45

13:25～13:45　再生可能エネルギー政策の動向
経済産業省 資源エネルギー庁 新エネルギー課　課長補佐　関 大輔
13:45～14:05　地中熱利用に関する環境省の取り組み
環境省 水・大気環境局 地下水・地盤環境室　室長補佐　伊藤 和彦
14:05～14:25　住宅・建築物の省エネ政策の概要と省エネ基準の動向
国土交通省 住宅局 住宅生産課　環境企画係長　本田 卓也
14:25～14:45　地中熱利用の普及に向けた取り組み
NPO 法人地中熱利用促進協会　理事長　笹田 政克

第二部
再生可能エネルギー促進で
復興加速化を目指す福島の地中熱
活用の取り組み
15:05～16:05

15:05～15:25　再生可能エネルギー関連の集積支援の取り組み
エネルギー・エージェンシーふくしま　代表　服部 靖弘
15:25～15:45　地域の地質地下水環境を活用した地中熱システムの開発
産業技術総合研究所　地中熱チーム研究チーム長　内田 洋平
15:45～16:05　ロハスの工学およびその実践としての浅部地中熱利用システム
日本大学工学部工学研究所　次長・教授　柿崎 隆夫

第三部　特別トークセッション
ローカルエリア再生を
促進するユーザー視点の地中熱活用
16:15～17:30

16:15～17:25　『地中熱・温泉熱導入による民間企業における経営のコスト削減化と課題』
ゲスト：社会福祉法人 創世福祉事業団　野田理事長、おとぎの宿 米屋　有馬常務
総合司会・進行：福島県地中熱利用促進協議会　理事長　白石 昇央
17:25～17:30　閉会挨拶　NPO 法人地中熱利用促進協会　理事長　笹田 政克

（敬称略）

11/20［月］ 意見交換会 18:00～19:30 参加費：6,000 円（学生：3,000 円）

Food パレットたらちね（ビッグパレットふくしま 2F）

特別トークセッション　11/20［月］ 16:15～17:25

「地中熱・温泉熱導入による民間企業における経営コスト削減と課題」

福島県内の民間企業で地中熱・温泉熱を利用した経営者が本音で語ります。

社会福祉法人創世福祉事業団
理事長　**野田信光**

温泉熱

米屋企業株式会社「おとぎの宿　米屋」
常務取締役　**有馬みゆき**

■総合司会・進行　福島県地中熱利用促進協議会 理事長 **白石　昇央**
株式会社エナジア ® 代表取締役／福島ミドリ安全株式会社 代表取締役社長

11/21［火］ 地中熱・温泉熱利用施設 見学会

参加費：4,000 円（定員 60 名）
8：30～13：00（予定）
郡山駅西口集合

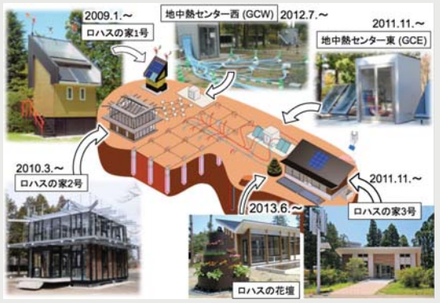
1 福島県再生可能エネルギー研究所 (FREA)

国立研究開発法人　産業技術総合研究所

福島再生可能エネルギー研究所 (FREA) は、政府の東日本大震災からの復興の基本方針により、平成 26 年 4 月に産総研の新たな研究開発拠点として福島県郡山市に設立されました。ご見学時には、深度 1 ～ 2mの地下に設置するシート型熱交換器とスリンキー型熱交換器および深さ約 40mの鉛直型（ボアホール型）の熱交換器を利用した地中熱システムの実証フィールドをご見学頂きます。

2 日本大学工学部

日大工学部は、健康で持続可能な生活様式 (LOHAS) を実現するための家（ロハスの家）の研究を 2008 年度より推進しています (http://www.ce.nihon-u.ac.jp/contents/lohas_com/)。その要素技術の一つとして「鋼管杭型浅部地中熱ヒートポンプシステム」を開発し、2014 年から実用展開しています。本見学会では、卒研・修論に取り組む学生達と共に研究施設の全体像をご紹介いたします。



3 おとぎの宿　米屋

おとぎの宿 米屋は、宿泊するお客様の健康と環境への配慮に関する厳しい基準をクリアし、本格的な料理とファシリティ設備、天然温泉を備えた旅館としては日本で初めて『ビオホテル認証』を 2016 年に受けました。環境への取り組みとして導入した、館内の冷暖房や給湯を賄う温泉の排湯熱を利用したヒートポンプシステムや見える化システムをご見学頂きます。